

■学生ら交流などで連携
つくば山水亭やつくばグランドホテルなどを展開するサンスイグループ（つくば市小野崎、東郷治久代表）と筑波学院大（同市吾妻、大島慎子学

長）は、地域で活躍する人材の育成などを目指した包括連携協定を結んだ。写真。具体的な取り組みについては未定だが、同グループが今年開設した日本語学校・日本つくば国際語学院の外国人生徒と、同大の国際別科の留学生の交流を図るほか、共同でイベント開催やカリキュラム開発などを実施していく考え。本年度は10月に同大の「ホスピタリティ実務」講座をつくば山水亭で開き、食教育の一環として行う会席料理の演習授業を予定。協定期間は来年3月31日まで。その後は1年ずつ



継続する。同大の大島学長は「互いにできることを話し合っていきたい」とし、東郷代表は「卒業後に大学進学を希望する生徒がいる。その希望をかなえ、新しい道を探ってやりたい」と話した。